

千歳市の特別支援教育

就学までの流れについて

～ 一人一人に応じた適切な学びの場の提供を目指して ～



令和8年5月22日
千歳市教育委員会学校教育課
相談員 設楽 真奈美

<本日の流れ>

- 1、特別支援教育とは
- 2、学校の種別と特徴
- 3、就学先決定までの流れ
- 4、就学先を考えるにあたって
- 5、就学相談について

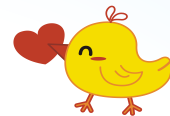


1、特別支援教育とは



障がいや遅れのある児童生徒の
自立や社会参加をめざし、
一人一人の教育的ニーズを把握し、
生活や学習の困難を改善又は克服
するために適切な指導や支援を行う
ことをいいます。

2、学校の種別と特徴



お子さんの様子や障がいの程度に応じて様々な仕組みが整えられています。

(1)通常学級	大きな集団の中で学ぶ
(2)通級指導教室	通常学級で学びながら、一部特別な場で指導を受ける
(3)特別支援学級	小中学校に配置され、少人数での指導を受ける
(4)特別支援学校	少人数の中で、より手厚い指導を受ける

(1)通常学級とは

- 1学級**35人以内**で編制
- 基本は担任1名で大きな集団の指導を行う
(各学校に数名の特別支援教育支援員が配置されており、支援の必要性に応じ、学級にサポートに入る時間もある)
- 集団の中で可能な支援

千歳市内小学校(通常学級17校)

学校名	住所	電話	R8通常学級数
千歳小学校	本町3丁目4-1	23-2181	7学級
北栄小学校	北栄1丁目10-2	23-4138	6学級
末広小学校	富丘2丁目6-2	23-4127	16学級
緑小学校	緑町4丁目4-1	23-4107	13学級
千歳第二小学校	清流1丁目4-1	23-2062	16学級
駒里小学校	駒里945-6	23-3237	3学級
支笏湖小学校	支笏湖温泉2	25-2729	2学級
日の出小学校	日の出2丁目3-20	23-2670	13学級
信濃小学校	信濃2丁目34-12	23-4752	12学級
高台小学校	富丘1丁目19-4	23-9109	9学級
東小学校	東丘824-30	21-3200	3学級
祝梅小学校	梅ヶ丘3丁目2-1	23-1110	9学級
桜木小学校	自由ヶ丘7丁目1-1	22-3301	12学級
向陽台小学校	若草5丁目1	28-2111	6学級
北陽小学校	北陽3丁目9-1	42-3441	26学級
泉沢小学校	柏陽2丁目9	28-5830	6学級
みどり台小学校	みどり台北5丁目3-1	40-2510	19学級

千歳市内中学校(通常学級8校)

学校名	住所	電話	R8通常学級数
千歳中学校	栄町4丁目35	23 - 3161	15学級
青葉中学校	豊里4丁目1-1	23 - 4147	10学級
東千歳中学校	幌加731-117	21 - 3300	2学級
駒里中学校	駒里945-6	23 - 3237	2学級
富丘中学校	あずさ1丁目2-1	24 - 1188	16学級
北斗中学校	北斗5丁目1-1	22 - 4151	9学級
向陽台中学校	若草5丁目5	28 - 4286	6学級
勇舞中学校	勇舞3丁目4-2	40 - 0051	22学級

(2)通級指導教室とは

- 通常学級で学んでいるが、ことばや発達に軽度の課題があるお子さんを対象に、週1回程度の個別(場合によっては複数)指導を受けます
- 主に放課後、または学習時間中に通常学級の学習を部分的に抜ける形で指導を受けます
- 保護者の方による送迎が必要です

令和8年度 千歳市通級指導教室

緑小学校 千歳市緑町4丁目4-1 ☎24-0777	言語指導通級
北進小学校 千歳市北栄1丁目2-6 ☎23-3439	発達支援通級
北陽小学校 千歳市北陽3丁目9-1 ☎23-2811	言語指導通級 発達支援通級

- ・鉄南地区は緑小学校と北進小学校、鉄北地区は北陽小学校が基本です。
- ・利用人数などの状況によっては、地区区分によらない場合や、待機していただく場合もあります。
- ・就学時のお子さんは、
「ことば」についての相談は10月以降に直接通級指導教室の学校へ、
「発達」についての相談は小学校入学後、お子さんの様子を見てから
通っている学校へ相談をしてください。

(3)特別支援学級とは

- 障がいの程度が比較的軽く、特別支援学校で学ぶ程ではないが、**通常学級では十分な教育効果を上げることが難しい子どもが対象**
- 少人数で個別に配慮した指導 - **1学級8人以内で編制**
- 基本的には小・中学校の学習指導要領に沿った教育課程（実態に即して特別の教育課程による教育が行われています）
- 学びに向かう意欲付けや理解・定着を高めるために、ゆっくり進めるなど実態に応じた学習を進めます。

＜特別支援学級(学校)の学習＞

通常学級と同じような教科学習や行事などの他に、自立につなげるための学習活動があります。

「自立活動」

障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立を目的とした内容で、学校の教育活動全体を通じて行います。また、お子さんの様子や発達段階に合わせて、必要に応じて特設の自立活動の時間を設けます。

「各教科を合わせた指導」

教科別の学習の他に、生活経験や体験を通して学習することで教育効果を高め、お子さんの興味・関心、満足感や成就感を大切にしながらまとまりのある1つの活動を通して学習します。

「日常生活の指導」 「遊びの指導」
「生活単元学習」 「作業学習」

このほかに..

お子さんの様子に合わせて、通常の学級(交流学級)で学ぶ「交流及び共同学習」を進めています。

<千歳市の特別支援学級>

基本は対象となる児童生徒のいる学校に設置します

- ・千歳市には、小中一貫の特別支援学級のみで設置されている北進小中学校があり、センター校として市内どこからでも通学できるようになっています。

※従って、お住いの校区の学校か北進小中学校かを選択することができます。
なお、支援学級間の転校はできません。

※地元校、北進小それぞれによさがあります。

※肢体不自由特別支援学級は、校内での移動手段など、校内環境を考慮して開設しています。

令和8年度開設校：末広小、千歳第二小、信濃小、北陽小、みどり台小
千歳中、駒里中

令和8年度千歳市内小中学校(特別支援学級)

学校名	令和8年度特別支援学級
千歳小学校	知的・自情
北進小学校	知的・自情
北栄小学校	知的・自情
末広小学校	知的・自情・肢体
緑小学校	知的・自情
千歳第二小学校	知的・自情・肢体・病弱
日の出小学校	知的・自情
信濃小学校	知的・自情・肢体
高台小学校	知的・自情・難聴
東小学校	自情
祝梅小学校	知的・自情
桜木小学校	知的・自情
向陽台小学校	知的・自情・難聴
北陽小学校	知的・自情・肢体・病弱
泉沢小学校	知的・自情
みどり台小学校	知的・自情・肢体

学校名	令和8年度特別支援学級
千歳中学校	知的・自情・肢体・病弱
北進中学校	知的・自情
青葉中学校	知的・自情
駒里中学校	知的・肢体
富丘中学校	知的・自情・病弱
北斗中学校	知的・自情・病弱
向陽台中学校	知的・自情・弱視



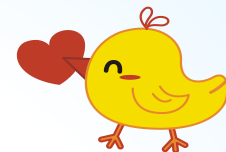
(4)特別支援学校とは

- 障がいの比較的重い子どもに、きめ細やかな手厚い指導ができる環境と人員
- 少人数での学級編制
～小、中学部は1学級6人以内で編制
(重度重複、肢体は1学級3名)
- 小学部・中学部・高等部の区分
- 「自立活動」領域での生活訓練
- 通学困難な子には訪問教育 ～自宅、病院、施設

千歳市居住者が指定されている特別支援学校(通学区)

学校名	住所	電話	
北海道南幌養護学校	南幌町緑町5丁目1-1	011-378-2313	知的
北海道札幌視覚支援学校	札幌市中央区南14条西12丁目1-1	011-561-7107	視覚
北海道札幌聾学校	札幌市北区北26条西12丁目1-1	011-716-2979	聴覚
北海道真駒内養護学校	札幌市南区真駒内東町2丁目2-1	011-581-1782	肢体不自由
北海道手稲養護学校	札幌市手稲区稲穂3条7丁目6-1	011-682-1722	病弱 子ども総合医療療育センターに入院
北海道札幌養護学校 共栄分校	北広島市共栄274-1	011-373-6859	知的障がいとの重複障がい 訪問教育(自宅)など

3、就学先決定までの流れ



【就学相談①】(事前・随時)

「就学先について迷っている」「特別支援学校や特別支援学級を考えている」という方は、教育委員会就学相談室までご相談ください。早めに来ていただければ、就学先決定までに十分に時間を取って相談を重ねることができます。学校を見学するにも時間の余裕が必要です。

また、重度のお子さんや医療的ケアが必要なお子さんの場合、年中・年少の時期など早めのご相談をおすすめします。

◆就学時健診(10月・校区の小学校にて)

- ・各学校より教育委員会へ結果報告

【就学相談②】(10月～)

学校から報告のあった幼児の**二次検査・面接**を実施する

結果により、適切な就学先について審議する教育支援委員会に諮る

【専門委員による検査面談】(11月)

【千歳市教育支援委員会による審議】(12月3日(木))

【就学相談③】(12月中旬～)

※入学先の決定

お子さんの学びの環境としてはどの学校種別が適しているか、各機関の専門家が集まり審議し、『答申』が出ます

【就学措置決定】(1月中旬)

※保護者に「入学通知書」発送

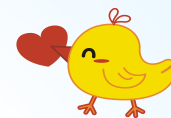
※各学校に結果通知

◆**入学説明会**(2月・校区の小学校にて)

＜新就学対象児の教育相談の流れ まとめ＞

時 期	
5月～	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員による保護者面談、幼児観察 ・発達支援センターによる学習会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援センターによる学校見学
8～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・希望される幼児について、教育支援委員会専門委員が検査・諸調査・保護者面談・相談等を実施
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校は、「就学時健診」を実施し、結果を教育委員会へ報告 ・二次検査の実施 ・教育委員会は、障がいの疑いがあると思われる児童について、教育支援委員会に諮問
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問された対象児について、教育支援委員会専門委員が検査・諸調査・保護者面談・相談等を実施
12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会は、検査や調査結果を基に審議し答申
12月中旬 ～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会は、答申に基づき保護者と教育相談を重ねて就学措置を決定 ・特別支援学校対象児については道教育委員会へ報告し、道教育委員会が就学措置を決定し保護者へ通知
1月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級、通常学級等の教育措置結果を保護者や学校に通知 ・「入学通知書」発送

4、就学先を考えるにあたって



①お子さんの様子を的確に把握しましょう

入学にあたっては、お子さんの状況を家庭外の様子を含め、客観的総合的にとらえ、よりよく伸ばすためにはどのような教育環境が適切かを考えていく必要があります。

医師や児童発達支援センターの先生、幼稚園やこども園の先生などの意見も大いに参考になります。

②学校見学に行って実際の指導や児童の様子を知りましょう

地元校以外に北進小や特別支援学校を検討している場合は、それぞれの学校では、どのような方法で、どのような内容を指導しているかを把握し、わが子に合っているかどうか考えてみる必要があります。

そのためには、該当の学校を訪問して、授業や児童の様子を実際に見てみるのがとても大切です。学校見学会などの機会を活用しましょう。

<学校見学をする際は>



※見学では次のことを気にかけてみてください

① 学級全体の雰囲気は？

② 在学児の様子は？

↳ どのような内容を、どのような支援で学んでいるか

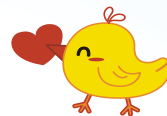
③ お子さんがもしその教室で学ぶとしたら？

↳ その教室と一緒に学んでいるイメージを試してみる

念のために・・・

- ・ 通常の教育活動を行っています
- ・ 見学の場面は、日常の学校生活のほんの一部です
- ・ 学校の環境は変化することを理解しておく必要があります

5、就学相談について



お子さんの持っている力を最大限に伸ばし、将来の自立と社会参加をうながすためには、どのような教育環境が適切なのか、今後どのような指導が必要なのかを、保護者の方と一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。

就学時健診の前後や教育支援委員会の判定後など、随時行っています。

◎「就学相談室」・教育委員会特別支援教育係 ☎24-0160

○緑小「ことばの教室」(言語・鉄南地区) ☎24-0777

○北進小「えがお教室」(発達支援・鉄南地区) ☎23-3439

○北陽小「ことばとまなびの教室」(言語と発達支援・鉄北地区) ☎23-2811

*相談の際には、事前に電話等で予約してください。

*発達支援通級は、両校とも基本的に入学後、学校を通して相談を申し込むこととなります。

ご清聴ありがとうございました

